

事業所名

子どもデイサービスみなみあいづ(放課後等デイサービス共生型) 支援プログラム

作成日

令和8 年

3 月

13 日

| | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|---------|------|---|---------|----|----|
| 法人(事業所)理念 | | お子さまの発達に欠かせない、生活・運動・認知・コミュニケーション・社会性の5領域の発達支援を基本とし、お子さまの持っている可能性を引き出していきます。また、当事業所の特色でもある「共生型」の中で、高齢者とのふれ合いを大切に、お互いに喜び合い、助け合い、温かみのある支援を目指します。 | | | | | | |
| 支援方針 | | お子さん一人ひとりの個性に寄り添いながら、個別支援や小集団における支援を行うことで成功体験を積み重ね、自信や次のステップへとつないでいきます。 | | | | | | |
| 営業時間 | | 8 時 | 30 分から | 17 時 | 30 分まで | 送迎実施の有無 | あり | なし |
| | | 支 援 内 容 | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 健康的な生活が送れるように支援します。来所時は手洗い・うがい・消毒など感染防止に関する支援も行います。繰り返し行うことでお子さんが自ら進んで行えるよう、お子さんの特性や現状に合わせて支援を行います。 | | | | | | |
| | 運動・感覚 | 日常生活に必要な基本的技能向上のための支援を行います。体の使い方、指先の使い方など個別課題や遊びの中で習得できるように支援します。 | | | | | | |
| | 認知・行動 | お子さんの特性に合わせたスケジュールを作成し、どのスタッフとどのような活動をするか視覚的に見通しが持てるようにし、変更がある場合は事前に伝えるように支援します。 | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 専門職や関係機関と連携して、読み書きの土台作りや基礎を教え、お子さんの特性に合わせて理解できる方法で時間をかけて教えていきます。お子さんがそれぞれ自分から意思を表出できるように支援します。 | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | 遊びやレクリエーションの中でルールを教えたり、共生型の特徴を生かし、お年寄りをはじめ様々な方との交流から人間関係や社会性を学べるように支援します。 | | | | | | |
| 家族支援 | | 個人情報に十分配慮しながら他事業所や関係機関と連携したり、福祉制度に関する助言や、家庭での関わり方に関するアドバイスなどを行っていきます。 | 移行支援 | | 保育園・学校・学童・他事業所などと連携し、進学する際などスムーズに環境に慣れていけるように支援します。 | | | |
| 地域支援・地域連携 | | 施設行事の際はデイサービスのお年寄りの方、地域の方と一緒に参加し、インクルーシブな機会を提供します。 | 職員の質の向上 | | 定期的に研修会を実施したり、研修会に参加したりとスキルアップ・資質の向上を図っていきます。 | | | |
| 主な行事等 | | お花見ドライブ、子どもの日、流しそうめん、紅葉ドライブ、クリスマス会、ひな祭り、クッキング、プール水遊び、体育館で運動などレクリエーションは放課後お年寄りと同様のゲームに参加する | | | | | | |

事業所名

子どもデイサービスみなみあいづ(児童発達支援 共生型) 支援プログラム

作成日

令和8 年

3 月

13 日

| | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|--|--------|------|---------|---------|---|----|
| 法人(事業所)理念 | | お子さまの発達に欠かせない、生活・運動・認知・コミュニケーション・社会性の5領域の発達支援を基本とし、お子さまの持っている可能性を引き出していきます。また、当事業所の特色でもある「共生型」の中で、高齢者とのふれ合いを大切にし、お互いに喜び合い、助け合い、温かみのある支援を目指します。 | | | | | | |
| 支援方針 | | お子さん一人ひとりの個性に寄り添いながら、個別支援や小集団における支援を行うことで成功体験を積み重ね、自信や次のステップへとつないでいきます。 | | | | | | |
| 営業時間 | | 8 時 | 30 分から | 17 時 | 30 分まで | 送迎実施の有無 | あり | なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 健康的な生活が送れるように支援します。来所時は手洗い・うがい・消毒など感染防止に関する支援も行います。繰り返し行うことでお子さんが自ら進んで行えるよう、お子さんの特性や現状に合わせて支援を行います。 | | | | | | |
| | 運動・感覚 | 日常生活に必要な基本的技能向上のための支援を行います。体の使い方、指先の使い方など個別課題や遊びの中で習得できるように支援します。 | | | | | | |
| | 認知・行動 | お子さんの特性に合わせたスケジュールを作成し、どのスタッフとどのような活動をするか視覚的に見通しが持てるようにし、変更がある場合は事前に伝えるように支援します。 | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 専門職や関係機関と連携して、読み書きの土台作りや基礎を教え、お子さんの特性に合わせて理解できる方法で時間をかけて教えていきます。お子さんがそれぞれ自分から意思を表出できるように支援します。 | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | 遊びやレクリエーションの中でルールを教えたり、共生型の特徴を生かし、お年寄りをはじめ様々な方との交流から人間関係や社会性を学べるように支援します。 | | | | | | |
| 家族支援 | | 個人情報に十分配慮しながら他事業所や関係機関と連携したり、福祉制度に関する助言や、家庭での関わり方に関するアドバイスなどを行っていきます。 | | | 移行支援 | | 保育園・学校・学童・他事業所などと連携し、進学する際などスムーズに環境に慣れていけるように支援します。 | |
| 地域支援・地域連携 | | 施設行事の際はデイサービスのお年寄りの方、地域の方と一緒に参加し、インクルーシブな機会を提供します。 | | | 職員の質の向上 | | 定期的に研修会を実施したり、研修会に参加したりとスキルアップ・資質の向上を図っていきます。 | |
| 主な行事等 | | お花見ドライブ、子どもの日、流しそうめん、紅葉ドライブ、クリスマス会、ひな祭り、クッキング、プール水遊び、体育館で運動など レクリエーションは放課後お年寄りと合同のゲームに参加する | | | | | | |